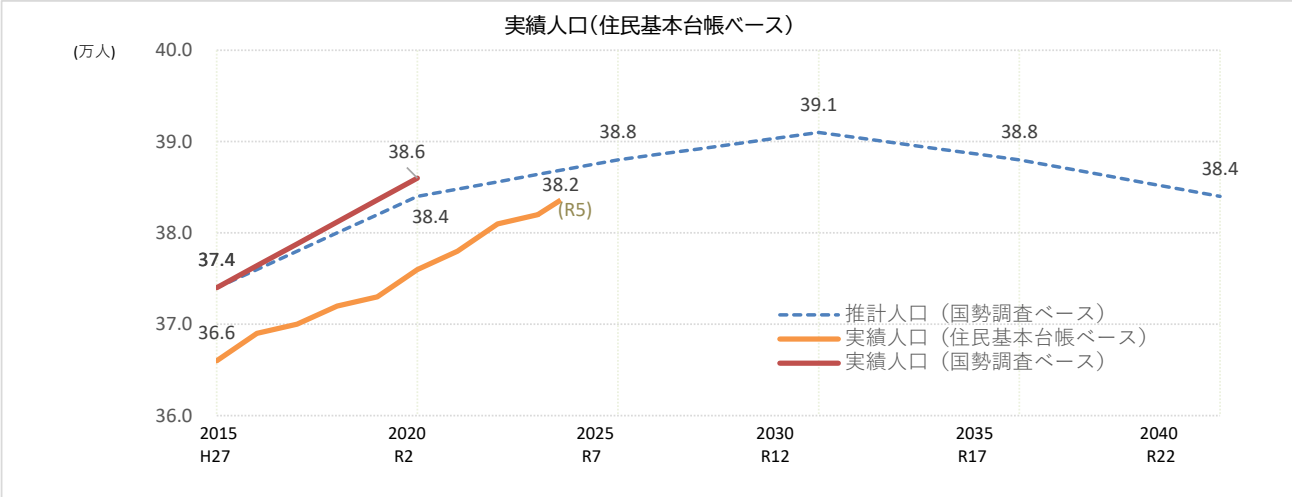


吹田市第4次総合計画 令和5年度の進捗状況（令和6年8月現在）

本市のめざすべき将来像を見通し、本市のまちづくりを推進するための今後10年間の指針とした、第4次総合計画(計画期間：令和元年度(2019年度)～令和10年度(2028年度))の令和5年度の進捗状況等を取りまとめました。なお、第4次総合計画は、令和6年3月に基本計画を改訂し、指標についても追加等を行っています。

■ 人口の推移

推計人口は国勢調査ベース、実績人口は住民基本台帳及び国勢調査ベースを示しています。
国勢調査ベースでは、推計を上回る実績で推移しています。住民基本台帳ベースでは、令和2年（2020年）以降、人口の伸びが鈍化する推計と異なり、増加基調を維持しています。



年	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
人口	36.6	36.9	37.0	37.2	37.3	37.6	37.8	38.1	38.2

(万人) ※住民基本台帳人口ベース（9月30日現在）

■ 財政運営の基本方針

持続可能な財政運営に向け、以下の3点を財政運営の目標としています。目標の達成状況を分析するための目安として設定している指標の実績は以下のとおりです。

①市民ニーズに柔軟に対応できる財政構造を維持します。

指標	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標
経常収支比率	95.6%	95.6%	96.2%	95%以下

②継続して安定的な財政運営を行うための備えを確保します。

指標	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標
【改訂】財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合	15.2%	18.2%	18.1%	20%確保
(財政調整基金の残高)	(106.3億円)	(143.0億円)		(100億円)

③将来世代への過度な財政負担を抑制しながら、本市の魅力の維持・向上を図るための必要な投資を行います。

指標	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標
公債費比率	7.5%	8.3%	8.3%	10%以下
市債残高の標準財政規模に対する割合	66.2%	72.6%	75.4%	100%以下
赤字地方債の発行	発行なし	10億円	4億円	極力抑制

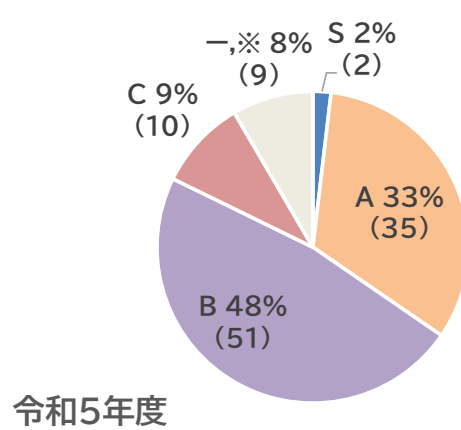
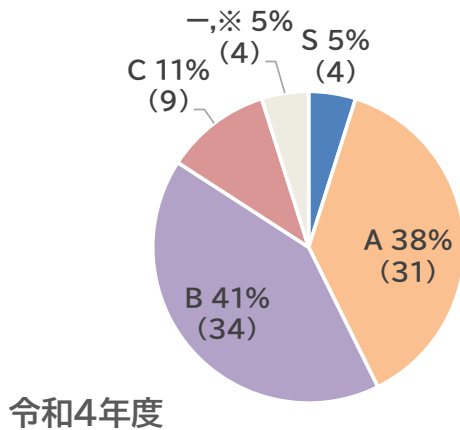
財政構造の弾力性を示す経常収支比率は96.2%（目標値：95%以下）となり、目標達成には1.2ポイント及びませんでした。安定的な財政運営を続けていくための備えである財政調整基金については、年度末残高145.6億円で、前年度末残高と比較して約2.6億円増加しているものの、標準財政規模に対する割合は18.1%（目標値：20%確保）となり、目標値を1.9ポイント下回りました。市債については、必要な投資を進めつつ将来世代への過度な財政負担を残さないよう適正な管理に努め、赤字地方債（臨時財政対策債）は4億円発行しましたが、標準財政規模に対する公債費の比率は8.3%（目標値：10%以下）、標準財政規模に対する市債残高の割合は75.4%（目標値：100%以下）となりました。

■ 施策指標の進捗

各施策の取組の目標や方向性を共有するとともに、実施した取組の成果や進捗状況を客観的に評価するため、「施策指標」を設定しています。
令和5年度の実績及び進捗度(S、A、B、C)は以下のとおりです。

- S：目標を大きく達成している、又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる。
A：目標を達成している、又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる。
B：目標を達成していない、又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、計画最終年度には目標を達成する見込みである。
C：目標を大きく下回っている、又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組の強化が必要である。
―：令和5年度には調査、把握していないもの。前年度以前に調査、把握等をしている場合は()で記載。
※：令和5年度に調査しているが、令和6年8月現在で実績が判明していないもの。

施策指標の進捗度の割合



令和5年度の進捗のうち、S・A・B評価の合計83%が計画最終年度には目標を達成する見込みです。

▶▶▶大綱 1【人権・市民自治】

平和の尊さを重んじ、性別などにかかわらず市民一人ひとりがお互いの個性や価値観の違いを認め合う豊かな人権感覚を育み、だれもが対等な社会の構成員として暮らせるまちづくりを進めます。また、市民と行政との協働による取組を進めるとともに、地域における多様なコミュニティ活動の支援に努めるなど、市民自治の確立に向けて取り組みます。

政策 1 平和と人権を尊重するまちづくり

目標：市民一人ひとりの人権が尊重され、だれもが対等な社会の構成員として平和に安心して暮らせるまち

施策	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
施策1 非核平和への貢献					
平和祈念資料館の年間利用者数	5万人	3.8万人	3.9万人	6万人	B
施策2 人権の保障					
人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数	6.1万人	2.7万人	4.5万人	6.5万人	B
人権をテーマにした標語やポスターなどの作品を市の事業へ応募した小・中学校の数	36校	33校	31校	54校	B
施策3 男女共同参画の推進					
市職員の管理職(課長代理級以上)における女性の割合	25.1%	25.8%	26.5%	30%	B
交際相手からの暴力(デートDV)に関する中学生を対象とした啓発講座の実施校数	3校	11校	14校	18校	B

政策 2 市民自治によるまちづくり					
目標：市民自治の確立に向けて、市民と行政とがそれぞれの役割を担うとともに、市民自らが地域課題の解決に向けて行動するまち					
施策1 情報共有の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】市のホームページの閲覧者数(月平均)	14.5万人	43.7万人	37.1万人	40万人 【改訂前】 20万人	A
施策2 市民参画・協働の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
市民委員の公募を行っている審議会などの割合 (公募できないものを除く)	80.4%	100%	100%	100%	A
市民公益活動センター(ラコルタ)の年間利用者数	6.4万人	4.3万人	4.5万人	7万人	B
施策3 コミュニティ活動への支援	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
自治会加入率	51.0%	44.8%	43.4%	60%	C
コミュニティセンターや市民センターなどコミュニティ施設の年間利用 件数	4.5万件	3.6万件	4.0万件	4.8万件	B

▶▶▶大綱 2【防災・防犯】

さまざまな災害に対応するため防災・減災対策や消防体制を充実させるとともに、市民が犯罪やトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐための取組を進めます。また、地域での助け合いや市民の意識向上を支援するとともに、市民、企業、関係機関との連携のもと、だれもが安心して安全に暮らせるまちをめざします。

政策 1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり					
目標：市民一人ひとりの防災意識と地域防災力・減災力が高まり、災害に強いまち					
施策1 危機管理体制の充実	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
各種団体との防災協定締結数	64件	94件	95件	100件	A
【新規追加】防災協定締結団体の吹田市地域防災総合訓練参加率	45.3%	41.5%	46.0%	100%	A
施策2 防災力・減災力の向上	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
連合自治会単位での自主防災組織の結成率	70.5%	85.3%	88%	100%	A
施策3 消防・救急救命体制の充実	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
消防団員数	179人	171人	170人	250人	B
普通救命講習などの年間受講者数	1万人	0.6万人	0.9万人	1万人	A

政策 2 犯罪を許さないまちづくり					
目標：市民一人ひとりの防犯意識や犯罪を許さないという気運が高まり、だれもが安心安全に暮らせるまち					
施策1 防犯力の向上	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
防犯に関する講座の年間受講者数	710人	1,038人	1,468人	1,500人	B
【新規追加】女性や子供を狙った犯罪認知件数（声かけ・性犯罪等）	59件	62件	69件	0件	C
施策2 消費者意識の向上	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
消費者向けの講座の年間受講者数	594人	219人	173人	700人	C

▶▶▶大綱 3【福祉・健康】

高齢者や障がい者をはじめ、だれもが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。また、健康寿命の延伸をめざし、すこやかで心豊かに暮らせる健康・医療のまちづくりに取り組みます。

政策 1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり

目標：高齢者が住み慣れた地域ですこやかに、安心して暮らし続けられるまち

施策1 生きがいづくりと社会参加の促進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】高齢者生きがい活動センターの年間利用者数	5.1万人	4.7万人	4.6万人	5.5万人 【改訂前】 6万人	B
【新規追加】生きがいがある高齢者の割合	—	73.7%	—	70%	—
施策2 暮らしを支える支援体制の充実	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
後期高齢者のうち、要支援・要介護の認定を受けている人の割合	33.5%	32.2%	32.5%	32%以下	B
【改訂】認知症サポーターの養成数(累計)	2.2万人	2.8万人	2.9万人	4.2万人 【改訂前】 5.6万人	C
施策3 介護保険制度の安定的運営	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】受けている介護サービスに満足している利用者の割合	67.7%	56.9%	—	60% 【改訂前】 70%	— (C)

政策 2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり

目標：障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して育ち、学び、働き、暮らし続けられるまち

施策1 生活支援など暮らしの基盤づくり	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
ホームヘルプなど訪問系サービスの利用者数(月平均)	1,274人	1,548人	1,640人	1,860人	B
グループホームの利用者数(月平均)	337人	468人	540人	700人	B
【新規追加】ショートステイ利用者数	420人	412人	451人	470人	B
施策2 社会参加の促進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
移動支援事業の利用者数(月平均)	1,059人	983人	1,005人	1,230人	B
「就労継続支援(非雇用型)事業所」における工賃の平均月額	12,517円	15,422円	集計中	18,000円	※

政策 3 地域での暮らしを支えるまちづくり

目標：地域福祉活動と総合的な生活保障により、だれもが地域で互いに支え合いながら、安心して暮らせるまち

施策1 地域福祉の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
小地域ネットワーク活動の延べ参加者数(地区福祉委員含む)	8.3万人	4.6万人	6.4万人	8.8万人	B
【新規追加】民生委員・児童委員の充足率	96.3%	92.7%	92.2%	100%	B
福祉避難所の支援を行うボランティアの人数	0人	29人	40人	130人	B
【新規追加】災害時要援護者支援に関する協定を締結した地区の割合	14.7%	32.4%	35.3%	100%	B
施策2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】就労支援事業に参加した生活保護受給者等の就労率	52.5%	40.1%	55.0%	50%	A
(生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数)	(87人)	(53人)		(90人)	

政策４ 健康・医療のまちづくり

目標：市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、生活の質を高めながら健康寿命を伸ばし、 すこやかで安心して暮らせるまち					
施策１ 健康づくりの推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
特定健康診査(吹田市国保健康診査)の受診率	46.0%	41.2%	40.5%	60%	B
【改訂】吹田市30歳代健診及び国保健診の問診において、「運動や食生活などの生活習慣を改善するつもりはない」と回答した人の割合					A
(男性)	32.0%	28.4%	27.4%	25.0%以下	
(女性)	22.9%	20.4%	20.4%	17.0%以下	
(生活習慣改善に取り組む市民の割合)	(男性)	(53.4%)	(60.91%)	(58%)	
	(女性)	(59.1%)	(65.82%)	(65%)	
【新規追加】受動喫煙にあわなかったと答えた人の割合	—	34.4%	—	40.0%	—
施策２ 健康で安全な生活の確保	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【新規追加】結核罹(り)患率（人口10万対）	14.8	8.2	8.6	6.0以下	B
施策３ 地域医療体制の充実	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
地域医療推進に関する講演会などの参加者数(累計)	210人	463人	858人	1,600人	B
施策４ 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【新規追加】かかりつけ医をもつ人の割合	55.3%	57.0%	60.5%	60%	A
【改訂】健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件数	0件 (H30年度 事業開始)	1,501件	1,569件	1,035件 【改訂前】 180件	S

▶▶▶大綱４【子育て・学び】

安心して子供を産み育てることができ、すべての子供の育ちが尊重されるとともに、豊かに学ぶことができるよう、家庭、地域、学校などの連携・協働のもと、子育て・教育環境の充実をめざします。また、すべての市民が生涯にわたって学べる環境を整えるとともに、学びの活動を通じて人と人、人と地域がつながるまちづくりに取り組みます。

政策１ 子育てしやすいまちづくり					
目標：安心して子供を産み育てられ、すべての子供がすこやかに育つことができるまち					
施策１ 就学前の教育・保育の充実	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
保育所などの待機児童数	55人	0人	4人	0人	B
施策２ 地域の子育て支援の充実	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
「子育て支援コンシェルジュ」の年間利用者数	3,510人	5,978人	4,755人	5,000人	A
【新規追加】乳幼児健診の問診における今後もこの地域で子育てをしていきたいと思う親の割合	95.9%	97.2%	97.2%	98%	A
施策３ 配慮が必要な子供・家庭への支援	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】生後4か月までの乳児がいる家庭に対し保健師、助産師、民生委員・児童委員などが訪問や面談を行った割合	72.2%	86.0%	96.0%	100% 【改訂前】 80%	A
【改訂】「ひとり親家庭就業相談」における就業支援の利用により就業につながったひとり親の割合	87%	69.6%	80.0%	100%	B
(「ひとり親家庭相談」における就業相談の利用により就業につながったひとり親の人数)	(20人)	(16人)		(50人)	

政策２ 学校教育の充実したまちづくり						
目標：子供たちが新しい時代を生き抜くために必要となる学力、人間性、体力を育むことができるまち						
施策１ 学校教育の充実		策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
授業で学習したことが将来社会に出た時に役に立つと思う小・中学生の割合	(小)	87.1%	90.3%	92.5%	95%	B
	(中)	78.4%	84.7%	83.0%	86%	
学校へ行くのが楽しいと感じる小・中学生の割合	(小)	86.6%	85.3%	86.6%	92%	B
	(中)	80.6%	84.9%	85.5%	86%	
【新規追加】いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う小・中学生の割合	(小)	96.1%	95.8%	96.7%	100%	B
	(中)	91.5%	95.3%	96.2%		
施策２ 学校教育環境の整備		策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
小・中学校の校舎及び体育館の大規模改修の実施率		18.2%	71.6%	81.8%	100% (R7年度まで)	A
小・中学校のトイレ改修の実施率		41.5%	100%	100%	100% (R2年度まで)	A

政策３ 青少年がすこやかに育つまちづくり						
目標：家庭、地域、学校の連携・協働のもと、青少年のすこやかな成長を支えるまち						
施策１ 青少年の健全育成		策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
青少年指導者講習会の年間受講者数		268人	203人	161人	350人	B
青少年施設主催イベント・講座などの年間参加者数		13.6万人	8.1万人	8.6万人	14万人	B
施策２ 放課後の居場所の充実		策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】留守家庭児童育成室の受入及び待機児童数		受入:3,236人 待機:0人	受入:4,400人 待機:11人	受入:4,706人 待機:106人	受入:4,600人 待機:0人	B
(留守家庭児童育成室の受入児童数)		(3,236人)	(4,400人)		(4,600人)	
太陽の広場などの年間参加者数		20.7万人	11.6万人	14.5万人	22.7万人	B

政策４ 生涯にわたり学べるまちづくり						
目標：いつでも、どこでも、だれでも、さまざまな生涯学習活動に取り組むことができるまち						
施策１ 生涯学習活動の支援		策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】市内大学連携講座の年間延べ受講者数		2,538人	621人	773人	3,000人	C
施策２ 生涯学習環境の整備		策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】地区公民館の年間利用者数（オンラインによる講座受講者を含む）		43.4万人	23.5万人	29.4万人	46.6万人	B
図書館の年間入館者数		195.8万人	177.6万人	209.7万人	222万人	A
【新規追加】市民１人当たりの図書館資料（電子書籍を含む）の年間貸出数		9.59点	10.1点	10.2点	12点	A

▶▶▶大綱 5【環境】

持続可能な社会の実現をめざし、市民が親しみをもてるような貴重な自然を守り育てるとともに、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を確保し、脱炭素、資源循環、自然共生を基調としたまちづくりを進めます。

政策 1 環境先進都市のまちづくり					
目標：持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、良好な生活環境が整ったまち					
施策1 脱炭素社会への転換の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
市域の年間エネルギー消費量	18.9PJ	15.4PJ	17.0PJ	13.1PJ以下	B
【新規追加】市域の年間温室効果ガス排出量	1,873千t-CO2	1,358千t-CO2	1,406千t-CO2	1,092千t-CO2以下	B
市域の太陽光発電システム設備容量(累計)	1.5万kW	2.5万kW	集計中	3.5万kW	※
施策2 資源を大切に社会システムの形成	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】「マイバッグ」の持参率	44.1%	82.4%	82.8%	87% 【改訂前】80%	B
市民1人当たりの1日のごみ排出量	843g	796g	773g	760g以下	A
施策3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
公害に関する苦情を解決した割合	68.1%	78.8%	74.7%	80%	B
【改訂】「環境美化推進団体」の団体数	24団体	45団体	49団体	60団体 【改訂前】40団体	A

▶▶▶大綱 6【都市形成】

安心で快適に暮らせる魅力ある都市空間を形成するため、さまざまな都市機能の充実を図ります。また、市民の暮らしを支える道路などの都市施設について、災害に対する備えや環境負荷の軽減などに配慮しながら、計画的な整備や維持管理・更新を行います。

政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり					
目標：地域の特性を生かしたまちづくりが進められ、みどり豊かで安全・快適に暮らせるまち					
施策1 土地利用誘導と良好な景観形成	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数[面積]	52地区 [160.9ha]	74地区 [275.7ha]	75地区 [278.1ha]	78地区 [280ha] 【改訂前】 (75地区 [230ha])	S
景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数[面積]	20地区 [88.7ha]	32地区 [119.7ha]	33地区 [122.1ha]	40地区 [150ha]	A
施策2 良好な住環境の形成	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
住宅の耐震化率	81.4%	—	—	95%	— (A)
空き家のうち腐朽・破損のあるものの割合	28.7%	—	—	10%以下	— (B)
【新規追加】倒壊の危険がある空家等の数	122件	26件	20件	解消	B
【新規追加】長期修繕計画に基づく修繕積立をしているマンション管理組合の割合	60.0%	62.6%	74.8%	75%	A
施策3 みどりの保全と創出	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
公園などの面積	358.8ha	360.3ha	360.7ha	361.6ha	A
「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数	28団体	31団体	31団体	60団体	C

政策２ 安全・快適な都市を支える基盤づくり					
目標：道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち					
施策1 道路などの整備	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連経路などの整備延長	8.3km	15.7km	15.9km	17km	B
都市計画道路の整備率	91%	93%	93%	96%	A
施策2 水道の整備	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
水道管路の更新延長	7.2km	48.7km	56.8km	93km	A
水道基幹管路の耐震化率	41.9%	49.5%	51.2%	58%	A
施策3 下水道の整備	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
下水道管路の更新及び長寿命化延長	23.9km	42.7km	45.1km	65km	A
雨水排水施設の整備率(1時間に約50mmの降雨に対応)	54.0%	54.09%	54.1%	55%	A
施策4 交通環境の整備	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】自転車通行空間の整備延長	0.9km	7.7km	11.8km	25km 【改訂前】 40km	A

▶▶大綱 7【都市魅力】

大学のあるまちといった強みや、文化・スポーツなどの活動を通じて育まれた市民のつながりなどを地域資源として活用しながら、これまで受け継がれてきた魅力を発信するなど、市民のまちに対する愛着を深め、一層の魅力向上をめざします。また地元企業の事業活動や創業を支援することにより、雇用の創出や地域経済の活性化をめざします。

政策１ 地域経済の活性化を図るまちづくり					
目標：地域経済の活性化が図られ、だれもが働きやすい環境が整ったまち					
施策1 産業振興と創業支援	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
開業率と廃業率の差	△ 2.4ポイント	—	—	3ポイント	—
【新規追加】市内の事業所数	11,526事業所	11,703事業所	—	11,700事業所	—
商店街及び小売市場における空き店舗率	9.3%	9.2%	11.4%	7%以下	B
施策2 就労と働きやすい環境づくりへの支援	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
J O Bナビすいたを活用した年間就職者数	612人	177人	206人	630人	B
「障がい者就職応援フェア」への参加者数	52人	32人	16人	85人	C

政策２ 文化・スポーツに親しめるまちづくり					
目標：文化やスポーツを通じて、より豊かな市民生活を営める魅力あるまち					
施策1 文化の振興	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
文化会館(メイシアター)の年間入館者数	48.6万人	28.2万人	29.6万人	50万人	B
【新規追加】市の文化事業に出演・出展した市民の延べ人数	—	2,525人	2,689人	2,650人	A
【新規追加】外国人等支援施策において支援した延べ人数	—	273人	544人	500人	A
施策2 文化財の保存と活用	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
吹田市立博物館の年間入館者数	3.4万人	1.5万人	1.6万人	3.5万人	C
施策3 地域におけるスポーツの振興	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
スポーツイベントやスポーツに関する講座などへの年間参加者数	7.5万人	2.2万人	4.3万人	9.5万人	B
「社会体育リーダー」など地域におけるスポーツ指導者の延べ認定者数(累計)	4,099人	4,418人	4,490人	5,000人	B
【新規追加】各スポーツ施設及び学校体育施設開放事業の年間延べ利用者数	187万人	145.3万人	157.8万人	187万人	B

政策３ 市民が愛着をもてるまちづくり

目標：まちのさまざまな魅力の向上により、市民が愛着や誇りをもち、住み続けたいと思えるまち

施策1 魅力の向上と発信	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】すいたフェスタへの協賛・協力団体数（R1年度までは「吹田まつり」）	536団体	490団体	547団体	600団体	B
【新規追加】すいたフェスタへの来場者数	—	1.7万人	1.7万人	2万人	B
「情報発信プラザ(Inforestすいた)」への年間入場者数	39.5万人	25.1万人	13.6万人	45万人	C
【新規追加】すいたんを用いたSNSなどのフォロー数	1.1万人	2万人	2.1万人	2.5万人	B
施策2 本市独自の強みを生かしたまちづくり	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】大学との連携による市民対象の事業やイベントなどの年間実施回数	96回	153回	171回	120回	A
【新規追加】連携授業等への参加を契機に市政への参画意欲が向上した学生の割合	—	62.8%	88.4%	70%	A
【改訂】ガンバ大阪と小学生のふれあいイベントなど応援イベントへの年間参加者数	2,032人	8,202人	8,607人	10,000人 【改訂前】 5,000人	A

▶▶▶大綱 8【行政経営】

持続可能なまちづくりを実現するため、P D C Aサイクルによる進行管理のもと施策を推進するとともに、公共施設などの資源を長期的に有効活用できるよう公共施設の最適化に取り組むなど、効果的かつ効率的な行政運営を行います。また、市民にとって身近な基礎自治体として、地方分権の進展に伴う権限移譲に対応するなど自主・自立のまちづくりに努めます。

政策 1 行政資源の効果的活用

目標：限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち

施策1 効果的・効率的な行政運営の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
【改訂】財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合	15.2%	18.2%	18.1%	20%確保	B
（財政調整基金残高）	(106.3億円)	(143.0億円)		(100億円)	
公債費比率	7.5%	8.3%	8.3%	10%以下	A
施策2 公共施設の最適化	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合	0%	100%	100%	100%	A
【新規追加】公共施設（一般建築物）の改修や建替えをした件数	—	21件	28件	130件	B
施策3 働きやすい職場づくり・人材育成の推進	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
職員1人当たりの年間研修受講回数	5.9回	6.4回	4.6回	7回	B
【新規追加】年間の時間外勤務時間数が360時間以下の職員数の割合	—	89.6%	91.2%	100%	B
施策4 I C T の利活用	策定時	実績(R4)	実績(R5)	目標(R10)	進捗度
I C T を活用した行政サービスの稼働休止時間	144分	0分	0分	0分	A
【新規追加】電子化対応済の行政手続におけるオンライン申請件数の割合	—	18.4%	15.7%	30%	C

市民意識指標

市民意識指標は、市民の意識や行動、満足度などを指標として設定しています。4年に1回を基本とする市民意識調査により調査を行います。

平成26年度と比べて、割合が低下している指標があるものの、ほとんどの指標が向上しています。

No.	指標名	H26年度	H30年度	R4年度	目標
市全体の取組の向上を示す指標					
1	今住んでいるところが気に入っている、住み続けようと思っている市民の割合	57.8%	59.8%	61.4%	70%
2	市の窓口サービスに満足している市民の割合	16.3%	18.7%	17.6%	50%
【大綱1】人権・市民自治					
3	人権意識が向上していると思う市民の割合	21.7%	30.0%	36.1%	30%
4	男女がともに個性や能力を発揮できている社会になってきていると思う市民の割合	30.8%	34.2%	37.2%	50%
5	市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなど、市が発信する情報に満足している市民の割合	25.9%	29.4%	38.9%	41%
6	何らかの機会を通じて市政に参画したことがある市民の割合	4.0%	2.9%	3.3%	8%
【大綱2】防災・防犯					
7	地震や風水害などへの対策に満足している市民の割合	19.0%	22.2%	25.8%	70%
8	災害に備えている市民の割合	27.7%	34.8%	42.9%	75%
9	治安が良いと感じる市民の割合	42.8%	48.5%	57.2%	70%
【大綱3】福祉・健康					
10	何らかの社会参加をしている高齢者の割合	59.5%	65.5%	55.2%	70%
11	障がい者を支える福祉・保健・医療サービスに満足している市民の割合	13.7%	16.8%	19.6%	18%
12	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉に満足している市民の割合	12.7%	16.4%	18.4%	24%
13	保健事業や健康づくりに満足している市民の割合	14.8%	21.5%	20.0%	18%
【大綱4】子育て・学び					
14	安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	63.0%	70.4%	75%
15	学校教育に満足している市民の割合	20.9%	23.9%	25.7%	50%
16	一年間で何らかの学習活動を行った市民の割合	-	35.2%	39.3%	50%
【大綱5】環境					
17	快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	26.6%	31.7%	34.4%	40%
18	ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合	25.1%	29.9%	29.9%	40%
【大綱6】都市形成					
19	まちなみが美しいと感じる市民の割合	58.6%	60.7%	66.6%	70%
20	みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	61.4%	62.1%	66.9%	67%
21	鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合	54.5%	58.5%	60.2%	60%
【大綱7】都市魅力					
22	商工業の振興に満足している市民の割合	10.8%	16.5%	17.3%	15%
23	芸術文化を親しめる環境として満足している市民の割合	15.0%	17.0%	17.0%	20%
24	成人の週1回以上のスポーツ実施率	36.7%	35.7%	44.3%	50%
25	市の魅力を伝える取組に満足している市民の割合	7.5%	10.2%	13.0%	15%

■ SDGsへの貢献

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された国際目標です。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標です。

発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むべき課題であること、また、自治体を含めた様々なステークホルダー（市民、企業、団体、NPOなどの関係者）が取り組むべき目標とされています。

SDGsの17のゴールとゴールを達成するめの具体的目標である169のターゲットについて、第4次総合計画の各政策との関連について整理を行い、SDGsの取組評価を行います。今後も、国際社会が求める目標に、本市が応えられているかについて意識しながら取組を推進します。



令和5年度（2023年度）SDGs取組評価

